

を掲げ、

、生徒たちは本気でプロ

探すこと。そんな大きなテーマ のような人生を生きるのか」を のために生まれて、これからど くことを通して「私は誰で、何回のプロジェクトの目的は、歩

昨年に続き2回目となる今

ジェクトに、そして自分自身と

向き合いました。

日本ベンジャミン人間性英才学校からグッドニュースや生徒たちの成長をお届けします

2017/5/24発行

第23号

日韓地球市民 徒歩プロジェクト

VV

私たちは地球をは

第

2

Н

韓

地 球 市 民

徒歩プロジェクト完了

後からは、健康を通

徒地 歩プロジェクト(球を歩く

通

ン生徒 ジェクトが、韓国母岳山(モア 5 月 たたち Ė 日韓のベンジャミ 0 徒歩横断プロ



と疎通する貴重な時間でした。 11 神宮に寄ったり、熊野古道を歩94.7㎞を歩き抜きました。伊勢 生徒たちは、 周りの自然と、そして仲間たち し、 16 日 たりしながら、自分自身と、 韓国290 から4日 日本に場所を移 kmの行程を終えた 間 かけて



感動と気付き き あ つ た

は感動的でした。

が感じたことを発表し、感動や 新たな気付きを共有しました。 最終日には、生徒たちが自分 が互いに励まし合っの壁を越えて日韓の なにたくさん歩いたことがな それを越えていく姿、また言葉 痛みとの戦いもありました。 かったので、疲労や睡 壁を越えて日韓の生徒たち 自分自身の限界に挑戦して、 徒の多くはこれまでこん ている姿 魔 足

> とを実践しながら、 街の人に地球市民意識 長するベンジャミン生徒たち い人に声をかけることへの抵 える活動も行いました。知らな ようと、ヒーリングライフを伝 抗や葛藤を乗り越え、勇気を出 して周りの人のために活動 今回それぞれが気づ いました。 引き続き温かい応援をよろ を伝え 1

しくお願いいたします。 ますます成 たこ

ベンジャミン人間性英才学校は

インワークショップ(メンター特別講義、ベンジャ ダーシップ教育、地球市民教育など)、ベン ャミンプロジェクト(世界に役立つ独自のテーマを メンターのサポートを受けながら1年間生徒が 自ら進行していくプロジェクト)、メンタリング(様々な 分野のメンターから個別にアドバイスをもらう)などの プログラムで、自己啓発、自己省察、進路体験活動など をしながら、自分で人生を作っていける力を養います。

















成績表



© 2017 Japan Benjamin School